

第24回日本・中国・台湾三方羽毛会議を開催。



平成30年9月11日、京都市の京都東急ホテルにて、第24回日本・中国・台湾三方羽毛会議を開催致しました。

日本からは日本羽毛製品協同組合加盟社を中心に90名、中国から中国羽絨工業協会関係者71名、台湾から台湾区羽毛輸出業同業協会関係者41名、合計202名が参加し、情報交換や市場報告が行われました。

11日午前の三方会議では開催国日本の、日羽協河田敏勝理事長の挨拶に続き、中国羽絨工業

協会の姚小蔓理事長、台湾区羽毛輸出業同業公会の張詔凱理事長の挨拶があり、その後中国、台湾、日本から、それぞれ市場報告がありました。

中国、日本からはグルーダウンの品質問題につき各国の対応策が報告されました。

また日本からは産地偽装対策として来秋冬から運用を開始するJBAトレーサビリティ監査システムの概要及びそのシステムを運用する、(一社)日本寝具寝装品協会からの説明も実施しました。



日本羽毛製品協同組合

日羽協ニュース

[編集発行] 日本羽毛製品協同組合

[事務局] 〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-12-4白鷺ビル7階

TEL 03-5649-2285 FAX 03-5649-2286 ホームページ <http://www.nichiukyo.org>

郷ひろみさん、日本羽毛ふとんアンバサダーに就任。



平成30年10月10日(水)ふとんの日に、東京・京橋のアンジェリオン オ プラザ東京にて、日本羽毛製品協同組合(以後日羽協)40周年記念式典を開催いたしました。

13時より始まった第一部では、河田理事長、来賓の挨拶の後、日本羽毛ふとんアンバサダーの就任発表を行いました。アンバサダーには、男女問わず幅広い年齢層に人気のある歌手、俳優、タレントである郷ひろみさんに就任いただき、記念品としてプレミアムゴールドラベルの最高

級羽毛ふとんと、ゴールドカラーの搔巻をプレゼントいたしました。

また、消費者の皆様にも40周年記念プレゼントとして1名様にプレミアムゴールドラベルの羽毛ふとんをご用意し、郷ひろみさんに抽選していただきました。

当日は、多くの新聞、テレビ、インターネットメディア各社にお越しいただき、この模様を各社ニュースで取り上げていただきました。

40周年記念式典を開催しました。

午後2時15分より始まった式典第2部では、郷ひろみさんのご発声による乾杯の後、40年のあゆみのご紹介、功労者表彰があり、下記の通り組合活動報告を行いました。



1) 技術委員会報告

12年ぶりに内容を一新した改定版・羽毛寝具要覧を紹介しました。羽毛の種類、羽毛原料の知識等を更に掘り下げ、羽毛の専門家への専門書としても、また初めて羽毛を勉強する方の入門書としても活用できます。



2) 普及啓発・需要活性化委員会報告

日羽協のホームページを一新しました。スマホ、タブレットにも対応しています。消費者に近い立場で内容を変更しました。

<https://www.nichiukyo.org/>



3) 羽毛安全衛生委員会報告

グルーダウン等品質不良羽毛の安全対策の中間進捗状況を報告しました。日羽協はグルーダウンを一部でも充填した羽毛ふとんはゴールドラベルの対象として認めていません。3月下旬には日羽協として対応策を発表します。



日本羽毛製品協同組合40年のあゆみ

- 1976年(昭和51年) 「羽毛寝具関係懇談会」発足羽毛ふとんメーカー、羽毛原料商、寝具卸業など18社が参加
- 1978年(昭和53年) 「日本羽毛寝具製造業協同組合」設立総会開催 初代理事長に横田春夫氏が就任
中小企業等協同組合法に基づく団体として通商産業省(現:経済産業省)の認可を取得
- 1985年(昭和60年) 充填材料用羽毛の試験方法を確立
- 1986年(昭和61年) 羽毛製品の品質保証としてゴールドラベル制度をスタート
- 2005年(平成17年) プレミアムゴールドラベル6つ星として新たに追加
- 2007年(平成19年) 「日本羽毛製品協同組合」へと組織名称変更
- 2008年(平成20年) 羽毛製品アドバイザー資格制度導入
- 2010年(平成22年) 第1回羽毛ふとん「いきいきキャンペーン」を実施
新型かさ高測定装置の開発
- 2011年(平成23年) JIS L1903:2011 羽毛試験方法が官報告示
ゴールドラベル評価基準の改訂実施
ダウンパワーの導入
- 2016年(平成28年) JIS L0216:2016羽毛用語が官報告示
- 2017年(平成29年) JIS L1903:2017 羽毛試験方法が官報告示
- 2018年(平成30年) 40周年記念式典を東京にて開催

羽毛ふとんの選び方、使い方。

決して安価なお買い物ではない羽毛ふとん。正しくご理解いただき、長くお使いいただく方法をご紹介します。ふとん選びやメンテナンスにお役立てください。

1.羽毛ふとんと羽根ふとんの違い

水鳥羽毛のダウンが50%以上入っているものを羽毛ふとん、ダウンが50%未満のふとんを羽根ふとんといいます。ダウン混合率が高くなるほど柔らかく肌触りも良くなります。只、ダウン混合率が高いほど良い商品とは限りません。また、ダッグとグースも成熟しているダウンならば甲乙もつけづらいところです。当然のことながら色による品質の差はありません。

2.消費者も賢くなりましょう

ヨーロッパ産の羽毛と中国産の羽毛では、原料としての管理がしっかりされていれば品質に大きな差はありません。日本人はとかくカタカナと漢字ではカタカナの方が舶来品のイメージがあり良いものと勘違いしてしまう傾向があります。羽毛ふとんでは、羽毛の品質や安全性、それに衛生面を考慮して選ぶことが大切です。ゴールドラベルは、品質を厳しくチェックし基準に合格した製品だけに付けられています。

3.羽毛の機能と特性

羽毛の一本の枝にはさらに小さな小枝が生えていてその大きさは2～4ミクロンと非常に小さく、その中にたくさんの空気を含みます。空気は熱伝導率が低く熱を外に逃がさないため保温性があります。もちろん軽さも繊維の中ではトップです。また、羽毛は湿度が高くなると小枝を閉じて風通しを良くし湿気を外へ放湿し、ふとん内の環境を最適に保ちます。羽毛のもう一つの特徴として弾力性と回復性に優れており、圧縮してもすぐに元の形に戻るため収納にも便利です。

4.使用前の準備

ケース等に入れて保管していた羽毛ふとんは、軽くほぐすように空気を含ませながら羽毛の偏りを整えます。羽毛を均一にすることで保温性のムラを無くし、より暖かく快適にご使用になれます。

5.使用方法

羽毛ふとんは、シャツのように頻繁に洗うことはできないため、汗や皮脂、摩擦から羽毛ふとんを守るためにもカバーをかけて使用してください。ふとんに、針を使ってカバーを縫い付けることは厳禁です。また、羽毛ふとんの特性である保温性、吸湿性、放湿性、ドレープ性を生かすために直接体にかけてご使用ください。寒さを感じる場合は、毛布をふとんの上に掛けてご使用することをお勧めします。只、肌触りの良い天然繊維の毛布であればふとんの内側でご使用しても大きな問題はありません。

6.メンテナンス

乾燥した状態を保つために定期的に月に数回、日干し又は風通しの良い場所で裏表合わせて1～2時間ほど干してください。日干しは殺菌効果もあり衛生的です。また、羽毛は小さな針の穴からでも吹き出します。側

生地に穴が開いたり破れたりした場合は、アイロンで圧着する糊の付いたタイプの補修布を使用し修復してください。

7.保管方法

保管前に十分乾燥させてから風通しの良いケースや袋に詰めて押し入れの上段などの湿気の少ない場所に保管してください。圧縮袋などはお勧めしませんが、やむを得ず使用する場合は、メーカーの注意書きをよく読み、空気を抜きすぎず元の高さの1/4程度圧縮を目安にしてください。

8.クリーニング・リフォーム

使用環境にもよりますが、汚れが目立たなくても3年程度を目安にクリーニングに出すことをお勧めします。中の羽毛が回復し寿命を延ばします。リフォームは、羽毛の特性を維持するため、5～6年を目安にお勧めします。またふとんの膨らみがひどく減少したり側生地から羽毛が噴き出したりひどく汚れたり大きな穴をあけてしまった場合などにもご検討ください。

日本羽毛製品協同組合のWebサイトにリフォーム認定工場が掲載されています。

<https://www.nichiukyo.org/overview/reform-2/>

羽毛製品アドバイザー派遣を行っております。

消費者の皆様は、上記内容ははじめ羽毛製品をより深く理解していただくため、映像や実際の羽毛ふとんを用いてご説明するアドバイザーを派遣します。是非ご活用ください。

● 主な講座内容

羽毛製品（羽毛ふとん、ダウンウェア関係）の品質と価格、製品の選び方及びリフォームなど羽毛製品全般。

● 講師派遣に関する費用及び人数

講師派遣に関する費用は無料。ただし、会場設営等に関しては、主催者側でお願い致します。参加者人数は、約20名以上。講演時間は、約120分程度です。

● 講師派遣申込み方法

当組合にご連絡ください。開催ご希望日、場所等に応じアドバイザーを派遣致します。各消費者関係機関での通年行事として、定期的な講演も承ります。 電話 03-5649-2285

■ 岩手県久慈市で羽毛製品講習会を開催いたしました。

平成30年10月5日久慈市消費生活センター向けに羽毛製品講習会を実施しました。

会場となった久慈市役所会議室には、一般消費者50名が集まり、羽毛の知識のDVD放映、派遣講師(羽毛製品アドバイザー)の岡本八大氏、佃光明氏による講習のあと、活発な質疑応答が行われました。参加者からは大変良かったとのコメントが多く寄せられました。





日本の寝具の歴史 4 まくらの意義

敷ボタン・掛ボタンと共に寝具として欠かせないものにマクラがあります。大昔には敷ボタンにあたるものはタタミで、掛ボタンにあたるものはフスマでしたが、マクラは有史以来マクラでした。なのでマクラは大変古い言葉のひとつです。それだけに何故これをマクラというのか、その名の由来は古来よりあやふやでした。ここに色々な書物に引用されるマクラの原義を列記してみますと次のようになります。

- ❶マキクラ(纏座)のキが略されてマクラとなった。
(「古事記伝」)
- ❷アタマクラ(頭座)のアタが略されてマクラとなった。
(「和漢三才図会」。「日本釈明」)
- ❸マクラとは目座(マクラ)、頭のスキマを支ふるなり。
(「大言海」)

これだけを取ってみても昔からマクラの意義について、いかに意見が混乱してきたかがわかります。しかし諸説ありますが、実はマクラとはタマクラ(魂倉)の義にほかなりません。タマとは人間の魂で、クラとは座とか倉・蔵の義で、タマの宿るところと解してよいと考えられます。言語学的にいうと、タマ・クラのタ(ta)はマ(ma)の接頭語にすぎないので、下にクラという語がきた場合に省略されるのは至って自然のなりゆきといえます。

では、枕が魂倉(タマクラ)であることはどうして説明ができるのでしょうか。それについて思い合わせると、枕を大切に^{しつけ}する躰にあります。最近はその躰も影を潜めています、われわれの子供の頃には枕を蹴ったり投げたりすることはもちろん、枕を跨いでもいいけないと躰られたものです。これは枕が単なる道具ではなかった証拠でもあります。こういう習慣の生まれるそもその原因は、人間が毎日夢を見ることと関連があります。今日では夢を見る理由は脳のひとつの働きとして理解されていますが、昔の人にとっては大変不思議なことであり、また大切なことでもありました。そして、そもそも夢を見るということは魂が肉体から遊離することによって起こる現象であると理解されていました。もちろん我々の魂

は一晩中フワフワとうろつき回っているわけではなく、ある時には「夢の通路」などを通して恋人に逢いに行ったりすることもあります、多くの場合は枕の中に入って安住すると考えられていました。なので夫が旅に出ているうち妻は、枕の片方を大切に守ってそっと空けておく「枕片去る」という習慣がありましたし、枕が二つある場合には枕と枕をくっつける「枕づく」という方法をとって夜毎に枕の中に帰ってくる夫の魂とめぐり逢うことを期待したものでした。

^{ただ}直あわず あらくも多く しきたへの 枕さらずて
夢にし見えむ(巻五)

ここだくに 思ひけめかも しきたへの 枕かた去る
夢に見えける(巻四)

これらはいずれも「万葉集」に残る事例ですが、なかには旅立つ夫に自分の枕を持っていかせる妻もあつたとみえて

逢わずとも われは怨みじ この枕 われと思ひて
まきてさ寝ませ(巻二)

と訴えるような例も残っています。

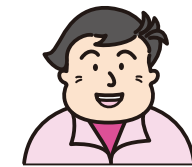
「火事だ!」と聞いて枕ひとつを持って逃げたお婆さんがいました。といえは現在では笑い話と受け取るのが普通です。しかし、いざという時に日頃一番大切に思っているものを持って逃げるのがむしろ人間の習性であることを考えますと、これを単なる笑い話として片づけるのは間違いといえます。少なくともそのお婆さんにとっては、枕こそは自分の命の次に大切なものであつたとみるべきで、おそらくはマクラをタマ・クラと意識した太古以来の思想が生きていた証拠とも受けとれます。

現代人の間ではこのような太古依頼の枕への信仰は失われていますが、考えてみると、良い睡眠の条件として枕が重要な働きをする点で、それが我々人間にとって「大切なもの」であることは変わっていません。

中身の羽毛は 何種類あるの

クイズです。予想してください。羽毛ふとんに使われている羽毛は、全部で何種類くらいあるのでしょうか?回答は文末に。

まず大きく分けると雁と鴨が家禽化されたいわゆる通称グースとダックの二種類ですが、それぞれに卵を産む親鳥と食肉用の鳥がいます。食肉用でも飼育期間が異なり、この期間が羽毛の品質に大きな影響を与えます。北京ダックの料理に使う鳥の飼育期間は30日にも満たず、柔らかい肉や硬い肉といった料理に応じた飼育期間も存在します。仮に飼育期間を親鳥も含めて4期間程度に分類してみると、グース、ダックで羽毛の種類としては8種類になります。当然のことながら羽毛の品質は親鳥を筆頭に長く飼育された鳥の羽毛ほど成熟し良い羽毛と言えます。ここまでは、分類中の大分類でこの8種類には、固有の鳥種が存在します。分かり易くするために其々を5種類とすると全部でその数は40種類となります。さらに詳しく分類すると、これに産地が加わります。産地により飼育環境や餌、それに羽毛の管理方法が異なりことは言うまでもありませんが、全く同じ鳥を飼育する場合、寒冷地の方が良い羽毛となります。これは、家禽化されたとはいえ鳥自身を寒さから守るために体から熱を逃がさないようにする羽毛の本来の機能が自然と備わるからです。では飼育環境を例えば10に大別すると40種類に10を掛けて400



安心くんの
ひとりごと

羽毛ふとんメーカー「安心堂」の若社長「安心くん」。
羽毛ふとんのことや原料の羽毛の事などを、皆様にわかりやすく解説します。
今回は、羽毛の種類とその考え方について…。

種類の羽毛が存在することになり原料の分類は少なく見積もってもこの数字となります。

次に羽毛ふとんが普及し始めた当時は、品質の目安はダウンの混合率でした。初めは、ダウン率50%~70%が主流でしたが、やがて80%そして90%とハイダウン化が進み、やがて95%まで達してしまいました。ただし、ダウン率が高いほど高級と言えるのは上記の400種類以上もある羽毛の中の1種類の羽毛に限定して比較した場合のみに言えることで、同じダウン率の羽毛ふとんでも400種類以上の羽毛が存在するため、単純に比較することはできません。表示が同じダウン率90%の羽毛ふとんがあっても産地や鳥種が違えば当然中身が違うわけですから価格も異なります。

このように気が遠くなるような羽毛の種類が存在するかぎり消費者に羽毛ふとんの中身の品質を個別に説明して納得して頂くことは不可能です。日本羽毛製品協同組合では、これらを分かり易く目に見える形で消費者に伝えるため、羽毛の品質の目安として羽毛のダウンパワーにより4種類に分類したゴールドラベルを発行しています。現段階では、総合的に判断できる一番信頼できる指標ではないかと考えています。ちなみに、クイズの答えは数百種から無限大かも、です。私もよくわかりません。深いなあ…。